

オイルの品質寿命をモニタリングする最新技術。データベースにない新しいオイルも簡単に追加できます

FS9-OLO

Filtertechnik社は、あらゆるオイルタイプの残存寿命を検知モニタリングできる、ユーザー目線で使い易いソフトウェアを開発しました。

Particle Pal V3シリーズのソフトウェアを使用することで、オイルのデータベースを使用可能で、オイルの品質寿命の分析ができます。オイルがデータベースにない場合は、簡単にオリジナルのオイルデータを追加作成できます。

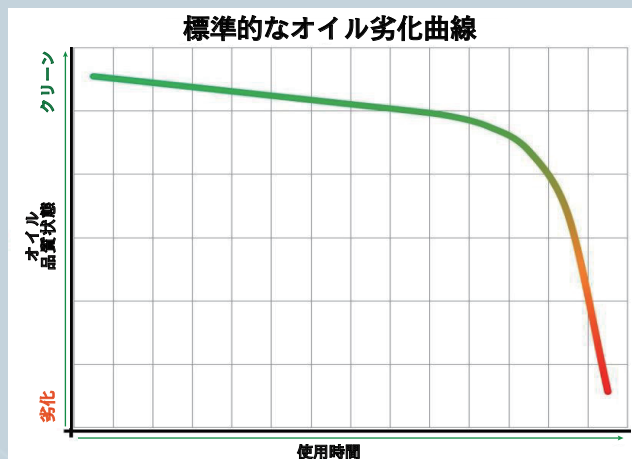
最新のソフトウェアには、オイルの寿命が時間の経過とともにどのように変化するかを監視する高度な傾向分析機能が含まれているため、突然の品質変動を簡単に検出して、システム内の精密電磁弁等の潜在的な初期兆候を事前に警告できます。

測定データは、個別にオイル資産毎に管理され、タブレットPC内にPDF・CSV形式で保存。USBメモリーに別途保存して簡単にデータを取り出すことができます。

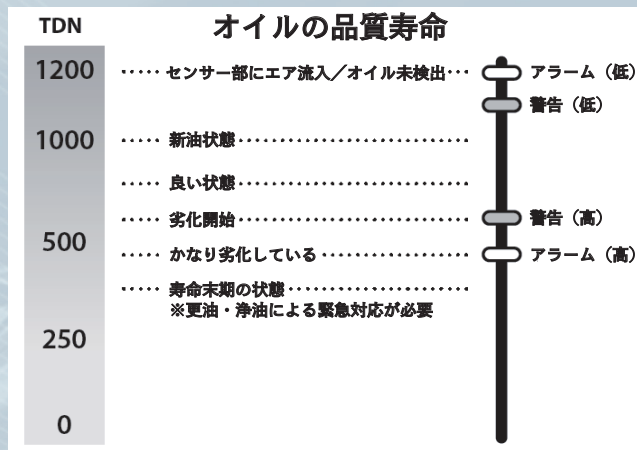
非常に高い周波数のAC波形を印加することで、センサーはエネルギー(静電容量)を貯蔵するオイルの能力と、電流(導電率)を伝導するオイルの能力を正確に測定することができます。これら2つの要因を合わせた比率は、オイルにどの程度の変化が起き、オイルがどの程度損傷しているかを知ることができます。



標準セット内容は、タブレットPCとなります



TDN1200~0の範囲でオイル品質が劣化につれて値は減少し、使用可能範囲は1050~300で、橙色(警告)は400~300となり、このゾーンはオイルのろ過や交換更油の準備が必要となります。レッドゾーン(アラーム)の部分は、300以下の値で十分な潤滑性が得られなくなっているため、オイルの交換が必ず必要となります。



新油は、クリーンポイントと呼ばれTDNスケール上で950~850になります。実際の値はいくつかの要因に左右されますが、基油ベースオイルの純度と含有している添加剤パッケージの内容が最も重要になります。オイルが劣化し始めると左図のようにTDNは減少し、指数関数的に減少しますのでTDNが急速に低下し始めると、分子レベルで油が限界寿命に近づいております。



TanDeltaオイル寿命センサーは、オイル分子レベルの状態を検知し高感度、再現性、高精度でオイルの残存寿命を計算できます。あらゆるオイルで動作し、お使いの新油登録をすることで、より正確なオイル寿命を知ることができます。